

項目		説明
試料・情報の利用 目的 及び 利用方法	研究課題名	頭頸部腺様嚢胞癌に対する放射線治療の遡及的解析
	研究目的	頭頸部腺様嚢胞癌は非常にまれで、頭頸部癌全体の 1%程度の発生頻度になります。まれな疾患であることから、大規模な臨床試験はありませんが、手術及び術後の放射線治療が標準治療とされています。一方で、根治的放射線治療は 1960 年～70 年代に治療をうけた患者さんの治療成績をもとに、外科切除及び術後放射線治療には劣る治療と考えられています。しかしながら、現在は放射線治療技術が著しく発展し、正常組織への副作用を減らしながら、腫瘍へ強く照射をすることが可能となってきています。したがって、時代に即した治療技術に基づいた根治的放射線治療の評価が必要と考えられます。本研究では近年の放射線治療技術に基づいた、頭頸部腺様嚢胞癌に対する術後放射線治療および根治的放射線治療の有効性（効果）・安全性（副作用）を評価します。
	研究対象者	1993 年 8 月から 2017 年 8 月に当院で根治的放射線治療あるいは術後放射線治療を開始した頭頸部腺様嚢胞癌の患者さん。
	研究期間	西 暦 2 0 2 1 年 8 月 2 3 日 ~ 西 暦 2 0 2 2 年 3 月 3 1 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input checked="" type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 放射線治療に関するデータ
試料・情報の管理 についての 責任者	当センター 研究責任者	溝口 信貴
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等	放射線治療科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	共同研究機関はありません。